

産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 横田 誠二

- I 開催年月日 令和元年 5 月 29 日（水）
- II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 10 時 42 分
- III 出席委員等 〔出席委員〕◎横田 誠二 ○筏井 哲治 高瀬 充子
高岡 宏和 酒井 善広 上田 武
福井 直樹 狩野 安郎 畠 起也
(◎…委員長 ○…副委員長)
〔議長〕 狩野 安郎（委員として出席）
〔副議長〕 坂林 永喜
〔説明員〕 別紙名簿のとおり
〔委員外議員〕 角田 悠紀 林 貴文 山口 泰祐
中村 清志
〔事務局職員〕 安東 浩志 松本 武司 室川 弘昭
六土 幸拓
〔傍聴者〕 なし

IV 審査の概要

都市創造部長から、市街灯 L E D 化事業に関する事故について報告があった。

〈 委員から次の質疑等があった。 〉

（ 以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示 ）

【市街灯 L E D 化事業に関する事故について】

- 事故との関係が疑われる特殊車両の操作は、資格を持った作業員が操作を行っていたのか。また、事故当時はサイドブレーキを引いた状態になっていたのか。
- △ 詳細については調査中だが、事故現場は道路に勾配が在り、高所作業車作業終了後、アウトリガを格納した際に車両が動き出し、作業員 1 人が 2 台の高所作業車に挟まれ亡くなったとの報告を受けている。
- アウトリガを格納すると車両は動き出す仕組みになっているのか。それとも、サイドブレーキを引いていれば車両は動くことはなかったのか。
- △ サイドブレーキを引く、又は車止めを設置していれば車両が動き出すことはなかったのではないかと考えている。

- この事故の影響で市街灯LED化事業が当面の間休止するとのことだが、全体のスケジュールにどのような影響が出るのか。
- △ 工事業者が労働基準監督署と協議を行い、了承が得られれば、事業を再開できるが、現時点では、具体的な再開時期は未定である。全体の工程として、まずトンネルの照明の整備を行った後に、令和元年8月頃から防犯灯に着手する予定である。そのため、今後の工程に影響が出ないよう、労働基準監督署に作業再開の許可を求めている。
- 工事関係者への注意喚起をしっかりと行っていただきたい。(要望)
- 事故の死亡者に対する補償について、本市が関わることはあるのか。
- △ 市は元請業者との関係のみであり、補償に直接関わることはないと考えている。

1 報告事項について

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

[都市創造部]・[福岡総合行政センター]

。令和元年度都市創造部・福岡総合行政センター所管事業の予算内示について

〈 委員から次の質疑等があった。 〉

【都市創造部所管事業の予算内示について】

- 「高岡ストリート整備推進事業費」では、具体的にどのような整備を行うのか。
- △ 勝興寺寺内町において、電柱のカラー化、街路灯及びデザインマンホール蓋の設置を行うこととしている。また、整備の延長が長距離に及ぶことから、令和元年度内に実施できる整備範囲等の内容を地元の方々と協議した上で決めていきたい。
- 「都市公園事業」では都市公園整備によって、安全・安心で災害に強いまちづくりを行うとのことだが、具体的にどのような構想か。
- △ 牧野地区河川公園の整備として、多目的広場、クレー多目的広場、遊戯広場、芝生多目的広場、駐車場、パークゴルフ場の整備及び市道の改良を予定している。現在はクレー多目的広場の工事を進めているところである。
- 牧野地区河川公園の防災化とは、公園を多目的に使用することで防災化を図るのか。それとも、特別に施設を準備することで防災化を図るのか。
- △ 防災拠点機能や避難地機能を持つことが国費の補助対象要件となっており、災害時には多目的広場等を避難所やヘリコプターの離着陸にも利用できるよう整備している。このように災害時や防災に利用することで防災化を図ることとしている。
- 「交通ネットワーク整備事業費」で実施される通学路の安全対策の内容は。
- △ 交通安全プログラムに位置付けられた道路について、側溝の蓋掛けや防護柵の設置等、場所に応じた対策を講じている。
- 「消雪施設整備事業」について、既に消雪設備が整備されている市道と更新時期に入った市道の延長は。また、今後の修繕の計画は。

△ 現在、既に消雪設備が整備されている市道の総延長は112.6kmである。平成元年頃から消雪設備に塩ビ管を配管しているが、それ以前については、鋼管を配管しており、この鋼管を配管している箇所については、今後、修繕を想定している。また、今後の老朽化対策として、30年末時点で、敷設から33年以上経過した延長32.5kmの消雪設備を順次整備、更新していきたい。

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

〔上下水道局〕

- (1) 令和元年度上下水道局所管事業の予算内示について（厚生労働省）
- (2) 令和元年度上下水道局所管事業の予算内示について（国土交通省）

〈 委員から質疑は無かった。 〉

2 その他

〈 委員から次の質疑等があった。 〉

【古城公園の水濠について】

- 古城公園は水濠が築城時のまま現存している全国的にも希な公園である。また、市民の憩いの場や観光地としても年間を通じて県内外の多くの方々に利用いただいている。水濠について、「濁っている」、「匂いがする」等の声が寄せられているが、このことについての認識と今後の方向性は。
- △ 古城公園の水濠については、平成3年8月から1年7カ月の期間で約10億円の費用を掛けて初めて浚渫を行った。水濠の水の汚れや匂いについては、噴水で水を対流させ、また、水草を植えるなど対応してきた。16年からは、毎月10項目の水質調査を行っており、今後は、その状況も考慮しながら対応を検討していきたい。
- 現時点では水質調査は行っているが、具体的な対応は決まっていないということか。
- △ 浚渫を行った後に、玄手川から水濠に導水し、常に濠に川の水を入れている。現時点では、気候条件や季節によってアオコや匂いが発生することはあるが、水質全体については、全て基準値内に収まっている。当面はこの水質調査を続けていくこととしている。
- 過去には古城公園について、市と市民が一緒に考えていく会議を開いていたとのことだが、現在もその活動は継続しているのか。
- △ 「古城公園を愛する会」は現在も存在し、古城公園の観光等についても検討していると伺っており、活動を継続している。

【学童保育で使用する施設について】

- 令和元年度、牧野小学校の敷地内に新たに学童保育が設置された。学童保育で利

用する建物はまだ新しいが、扉の鍵に不具合が出ており、利用者が困っているとの声が寄せられている。十分な設備整備を建築請負業者に対し強く求めるべきと考えるが、見解は。また、今後どのように改善していくのか。

△ 建物の鍵が掛かりづらい箇所があるとの意見は伺っており、令和元年6月中旬までに業者が修理することとなっている。

○ 子どもが出入りする建物であるため早急に対応に当たっていただきたい。（要望）

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

〔産業振興部〕

(1) 伏木港開港 120 周年記念事業「高岡再発見プログラム スタンプラリー」の実施について

(2) 令和元年度 連休中等祭事・イベントにおける観光客等入込数について

〔都市創造部〕

。新幹線利用者GW期間中の駐車場利用について

【連休中等祭事・イベントにおける観光客等入込数について】

○ 外国人観光客の人数は把握しているのか。

△ 国土交通省の観光庁が実施している宿泊旅行統計調査を基に、本市の外国人観光客宿泊者数を把握しており、平成 29 年は約 8,500 人、30 年は約 10,500 人である。

○ 市が独自に外国人観光客数を把握することはできないのか。

△ イベント独自でそれぞれの外国人観光客数の把握をすることは難しいが、東京オリンピック・パラリンピックが開催されることを踏まえ、外国人観光客数の把握について検討を進めていきたい。

○ 高岡ねがいみち駅伝については、出走者数のみ把握されているが、本丸広場で開催されているイベントや沿道の応援者等の入込数は把握していないのか。出走者以外の入込数も含めてカウントすべきでは。

△ 高岡ねがいみち駅伝は中心市街地の活性化を目的として始めたイベントであり、その一方でスポーツ大会の側面も併せ持ち、一つのバロメーターとして出走者をカウントしている。出走者以外の人数の把握については、実行委員会と相談し、今後の対応について検討していきたい。

○ 令和元年の初日に開催した高岡御車山祭の観光入込数は、前年比の 102.0%となった。また、今回から勢揃式観覧席を設け、末広町側観覧席においては、20 席中 10 席程度が利用されたと聞いているが、このことをどう評価しているのか。

△ 旅行会社を通じ、ツアー客の皆様から感想を伺ったところ、「間近で素晴らしい祭りを拝見できて良かった」、「頂いた錫製品や和菓子の土産物でも高岡の文化に触れることができた」などの好評をいただいたと捉えている。その他、ご高齢のツアー客の方もお越しになっていたことから、「徒歩による移動距離を短くすべき」との意見があった。また、町屋観覧席について、旅行会社から「山町筋の町屋から御車

山を間近で観ることは、旅行プランの魅力として非常に大きい」との意見があった。本市としてはお声掛けをする旅行会社を増やすよう取り組むとともに、ツアーの催行数を増やすよう旅行会社に相談していきたい。

- 特別観覧席は好評だったということから、次年度以降もアンケート調査の結果を生かしながら旅行商品の充実等を図っていただきたい。（要望）

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（３０名）

産業振興部長	川 尻 光 浩	都市創造部長	堀 英 人
産業振興部次長 参事	渡 辺 朋 洋	都市創造部次長	根 上 幹 雄
産業企画課長	新 保 貴 之	都市創造部参事（兼務）	渡 辺 朋 洋
商業雇用課長	表 野 勝 之	都市計画課長	久 郷 聡
観光交流課長	長 井 剛 志	花と緑の課長	有 栖 友 広
農業水産課長	須 田 稔 彦	道路整備課長	橘 茂 徳
農地林務課長	川 渕 利 直	土木維持課長	広 田 利 和
みなと振興課長	中 出 裕 嗣	建築政策課長	日 名 田 尚 明
		営繕課長	小 泉 和 浩
農業委員会事務局長	笹 島 永 吉		
		上下水道事業管理者	黒 木 克 昌
福岡総合行政センター所長	柴 田 文 夫	上下水道局次長	嘉 信 和 昭
福岡総合行政センター次長 地域振興課長	末 坂 進	上下水道局次長 参事	浜 谷 圭 一
産業建設課長	堂 田 康 弘	上下水道局参事	炭 谷 信 之
福岡まちづくり推進室長	池 田 政 弘	総務課長	五 十 里 康 夫
		営業課長	宮 田 修 司
		水道工務課長	寺 井 義 則
		下水道工務課長	熊 本 敬 二
		施設維持課長	島 信 治